

視察（研修）報告書

令和7年5月22日

府中市議会議長 様

会派名又は 経政会
議員名 森川 稔／藤本秀範

日 時	令和7年5月21日(水)
視察（研修）先	尾道市役所 第一委員会室
視察（研修）項目	人口問題の課題や対策などに関する研修
参加者	森川 稔 / 藤本秀範
視察（研修）内容	1. 演題:少子化問題における地域的課題 2. 講師:立命館大学産業社会学部 教授 筒井淳也 3. 紹介先:尾道市議会 人口減少対策推進議員連盟 ※人口減少について広域的課題として合同にて研修を実施
所 感	・講義については少子化問題における地域的課題資料に沿って受講した。それぞれの数値をもとに、現状から変化予測を踏まえた課題に直面し、参加した受講者から講師に対する質問の中から諸課題としても取り交わされた。さらには中小企業経営者からの意見も出され活発化した研修となった。講義では、数値的な分析の方をしっかりと聞かさせていただいたこと、また分析した数字に対して捉えるポイントを学び、マスメディアの報道数値に対して懐疑的に捉えられる部分の理解は大きな成果であったと思う。質問させていただいた内容では「一旦、地方を離れ人口の多い東京へ居住し、刺激を受けながら成長していくことを望まれた若い人たちが、一旦東京に転入し、凄まじい忙しさの中から地方ならではの良さを価値観として捉えられたときに起因する「帰省政策」などはどのように関係省庁と連携させ構築させていくべきなのか」お尋ねさせていただきました。経産省という観点からお答えいただき、講師から「東京の会社に所属していても地方へ居住して仕事ができる環境の構築」との答弁については、オンラインに関係する職種が主体となる部分であり、デジタル庁など他の省庁との連携を深めた政策に期待をしまいたい。そういった国家政策に準じて、本自治体としてはどのように整合性を図りながら政策に取り組むのか、会派としても継続した視点で協議を図りながら執行議案に向き合っていく合意形成も図れたことは、研修への参加として大きな意義であったのではと感じている。